

アフリカ子どもの本プロジェクト(JACBOP) 2024年度(2024.4-2025.3)活動報告

1、概況

2024年度は、2004年に発足した「アフリカ子どもの本プロジェクト」が20年間活動を続けてきた節目の年度でした。2004年と2008年にケニア西部に設立された子ども図書館(ドリームライブラリー)は、運営を少しずつ現地の方々に引き渡すという考えで進んできましたが、今のところ現金収入のない地元の多くの方々にとっては、図書館の修理や図書の購入、ライブラリアンへの支払いなどはまだまだ難しい段階にあり、会員の方たちのご寄付によってその部分をまかなっています。

ただ、この図書館は徐々に地域でもなじみのものとなり、現地の図書館委員会も活発に意見交換をし、蔵書点検や建物の修理などを手伝ってくれています。年に2回、ケニア在住の会員が図書館を訪問し、ていねいな情報交換をしてくれたり、ズーム会議ができるようになったりしたことによって、私たちと現地のみなさんの距離がぐんと近づいたのは、うれしいことです。ドリームライブラリーのある地域は中心部から離れているせいもあって、教科書を持たない子どももまだまだ多く、図書の購入はこれまで教科書や学校で使う本を中心に行ってきましたが、今後はそれ以外の物語絵本や物語の本にも目を向けていくつもりです。

日本の子どもたちに、本を通してアフリカの子どもたちや文化を伝える活動は、コロナ禍が一段落して少しずつ活発になってきています。20周年記念の図書展やイベントも、東京のブックハウスカフェと、京都の堺町画廊で開催することができました。2つの会場では、私たちの活動の歴史や現状をご報告したり、図書展の本でブックトークをしたり、子ども向けのワークショップを行ったりすることによって、新たに会員になってくださる方もふえました。

2024年度の定例会は、オンラインで12回開き、ケニアの図書館の支援、図書展やイベントの打ち合わせ、おすすめリストの選書などについて話し合いました。定例会・選書会のご報告については、会員の方には毎回メールで「プロジェクト・ニュース」を配信し、ブログやインスタグラムやフェイスブックでも、ケニアのドリームライブラリーの様子や、おすすめの本や、図書展・定例会の様子などを随時ご紹介しています。

2、会員数

2023年度末の会員数は111名、2024年度末は118名でした。20周年記念の図書展で大勢の方が入会してくださいました。

3、2024年度活動報告(2024.4-2025.3)

3-1 定例会の開催

今年度はオンライン(zoom)で12回開催しました。ケニアのドリームライブラリーの支援、おすすめリストの選書、図書展等について話し合いました。

3-2 ドリームライブラリー等の支援

1) ケニアのドリームライブラリーについて(写真)

ケニア西部のエンザロとシャンダにある2つのドリームライブラリーを支えることは、私たちのプロジェクトの3つの柱の1つです。2021年秋に会員となったケニア在住の稲角暢会員が、2022年度よりライブラリアンの給与支払いや、年2回のドリームライブラリーの訪問をおこなうなど、現地の支援者として活動しています。稲角会員は首都ナイロビに在住しつつ、ケニアで一般的なSNSであるWhatsAppや電話を用いて現地のライブラリーとコミュニケーションをとっています。

2024年度、稲角会員は6月と12月にドリームライブラリーを訪問しました。訪問の際には、各々の図書館委員会に毎回参加し、委員やライブラリアンからの要望をつぶさに聞き取り、日本側へ報告しています。2022年以来、稲角会員の訪問時に日本側の会員とライブラリーをオンラインで繋いで交流しています。顔を見ながら挨拶を交わし合うだけでなく、ライブラリーの問題や要望について直接声を届け合うことは、ケニアと日本の心理的な距離を縮める時間でもあったように思います。2024年12月の20周年記念イベントの際は、エンザロ・ドリームライブラリーの様子を、現地からオンラインで日本の会場にお見せしました。ライブラリアンのピーターさんをはじめ、図書館委員の方々も日本の会場との交流を楽しみました。

また、現地訪問の際には、過去におこなった図書館の修理や改築、電気・トイレなどの工事の跡を確認し、写真を撮影したりもしています。2024年度、エンザロでもシャンダでも、外壁の漆喰塗り、内壁の塗装といった修理をおこないました。両ライブラリーの外壁は長らく漆喰が塗られておらず、レンガが剥き出しで雨風にさらされていました。内壁も色あせ、館内が薄暗くなっていたこともあり、塗装を決断しました。補修工事の際には、現地のコミュニティの方々も手助けしてくださいました。たとえばエンザロでは、男性陣が塗り作業のための足場・梯子の素材となる木材を寄付してくださったり、漆喰の材料の運搬・混ぜ作業を手伝ってくださったりし、また女性陣も20リットルのジェリカンを背負って何度も水くみに往復して下さったそうです。いろいろな助力の末、修理後のライブラリーの外観は見違え、現地の人びとは大喜びでした。開館当時故沢田としき会員などが壁に描いた絵も、現在ではその多くが色あせてしまいましたが、補修の際にはできる限り保存することを心がけました。将来的には、ケニアの絵描きに依頼して、今回塗られた漆喰やペンキの上から、図書館に合った絵を描いてもらおうかもしれません。

図書の購入については、2023年度中に発注した図書が、2024年5～6月にかけて納品されました。エンザロで252点、シャンダで246点です。この図書費に関しては2023年度の決算で報告済です。例年通りの教科書、参考書、課題図書などを購入したほか、多くのStory Booksも購入したため、利用者の子どもたちからも喜びの声が聞かれました。2025年2月には、小学校9年生用の新カリキュラム教科書を、エンザロとシャンダそれぞれ18点ずつ購入し、壁掛けのチャートも買いました。学校では教科書が十分に配布されないため、これまた利用者の子どもたちはとても感謝しているそうです。

稲角会員の現地ライブラリー訪問時には、ライブラリアンと共に文房具や清掃用品などの買い出しにも出かけます。加えて、新規購入した図書について、購入冊数、および盗難・紛失の有無の確認もしています。2022～2023年度と同様、年末の12月にはライブラリアンや図書館委員のみなさんとともに、図書館の蔵書点検をおこないました。エンザロ・ドリームライブラリーで2,184点、シャンダ・ドリームライブラリーで1,769点の蔵書が確認できました。しかし、盗難・紛失と思われる図書の減少もある程度見つかりました。たとえば、シャンダでは、2024年6月に買ったばかりの英英辞書が（おそらく11月の補修工事中に）なくなったことが判明しました。これを受けて、2025年3月の図書館委員会では検索を継続し、利用者への周知を呼びかけるとともに、図書館委員でお金を出し合って辞書を購入しよう、という話し合いがなされています。

この数年、ケニアでの物価上昇は激しく、ライブラリアンの生活は苦しくなっています。2024年4月には2年ぶりの給料アップを実施し、ピーターさんの給料は15,000シリングに、アイリーンさんの給料は開館時間の延長を踏まえ5月から13,500シリングになりました。加えて、医療保険の負担分1,000シリング、年金の雇用者負担分540シリング、通信データ料として500シリングをプラスして支払っています。また、一昨年の貸付30,000シリングの返済が完了したので、引き続き50,000シリングの貸付の希望があり、約1年の無利子分割払いで給料から差し引いています。ほかの支出として、両ライブラリーには、毎日の新聞購読料として日毎に60シリング、そのほか、新聞販売店が近くでないエンザロには、新聞配達の手配料として月毎に1,500シリングをお渡ししています。また、2024年度にはエンザロ図書館では5回、シャンダ図書館は4回の図書館委員会が開催されました。それぞれ図書館委員会が開かれる際には、遠くから通ってくる委員や、仕事を休んで参加する委員もいるので、開催毎のお茶菓子代として3,000シリング援助しています。

最後になりますが、シャンダ・ドリームライブラリーを利用する子どもたちに、稲角会員が12月に少しインタビューをおこないました。日本で言う中学1年生の男の子と、小学6年生の女の子に、日常の家庭生活・学校生活と図書館の関わり、そして図書館の利用頻度や時間数などをお聞きしました。そのなかで印象的だったのは、彼らが、同世代の友人たちだけでなく、自分の弟妹や近所の年少の子どもたちを連れてグループで図書館をよく利用するようだということでした。彼ら自身が年下の子どもたちに読み聞かせをすることもよくあるそうです。2人とも、たくさんの図書が新たに購入されたことを喜びつつ、「幼児向けの本はボロボロで、新しい本が増えていないので、小さい子たちのための絵本も買ってほしい」ということを言っていました。2025年度に留意したい点として挙げておきたいと思います。

2024年のドリームライブラリーの利用状況は、以下の通りです。

エンザロ・ドリームライブラリー 報告者：ピーター・インブーカ（ライブラリアン）

利用者別人数（単位：人）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	298	448	393	408	345	148	446	477	317	355	287	152	4074
プライマリー生徒	253	489	414	398	368	157	491	500	435	396	517	211	4629
セカンダリー生徒	127	276	222	290	216	108	269	291	229	220	99	73	2420
おとな	360	516	525	534	544	181	520	538	476	453	155	79	4881
合計	1038	1729	1554	1630	1473	594	1726	1806	1457	1424	1058	515	16004
開館日数（単位：日）	21	27	25	26	26	26	26	27	26	27	25	20	302

シャンダ・ドリームライブラリー 報告者：アイリーン・ナムニュ（ライブラリアン）

利用者別人数（単位：人）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	354	317	526	287	440	519	463	592	493	336	319	225	4871
プライマリー生徒	914	1015	1121	800	1179	1041	1047	1131	1122	930	338	195	10833
セカンダリー生徒	132	165	189	340	129	229	226	417	101	162	198	111	2399
おとな	205	324	420	238	323	345	361	345	353	255	504	290	3963
合計	1605	1821	2256	1665	2071	2134	2097	2485	2069	1683	1359	821	22066
開館日数（単位：日）	26	23	26	24	26	25	26	27	25	19	27	23	297

2004年に設立したエンザロ・ドリームライブラリーと2008年に設立したシャンダ・ドリームライブラリーは、ともに週に5日半開館しています。2024年4月末からシャンダもエンザロと同じ開館時間となりました。

エンザロ・ドリームライブラリー：火曜～土曜 9:00～17:00 日曜 14:00～17:00
シャンダ・ドリームライブラリー：火曜～土曜 9:00～17:00 日曜 14:00～17:00

2) アフリカのその他の地域、団体への支援は、今年度はありませんでした。

3-3 アフリカのことを知らせる活動（写真）

当プロジェクトが選ぶ「アフリカに関する児童書 おすすめの本」の本等を展示できる「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」は1箇所で開催していただき、加えて図書展含む20周年記念企画を主催し、合計3箇所で開催することができました。

選書会で選ばれた新しい本を加えて、展示図書を入れかえ、展示用のジャンル表示パネルを新しいデザインのものにするなど、内容を随時更新しています。

3-3-1 「20周年記念企画 図書展」

2004年にエンザロ・ドリームライブラリーを開設し、同時に歩み始めたこのプロジェクトの活動を会員以外の方にも知っていただきたいと、「20周年記念 図書展」を東京と京都で開催しました。図書展のほか、会期中にはさくま代表や福本友美子会員の講演、絵本の読み聞かせや子ども向けワークショップなども行い、たくさんの方に来ていただきました。また、おすすめリストの中から、会員が関わった本の紹介・販売、グッズ販売もしました。詳細はホームページなどで報告しています。

① 主催：アフリカ子どもの本プロジェクト

会期：2024年12月6日（金）、7日（土）

会場：ブックハウスカフェ（東京都千代田区神田神保町2-5 北沢ビル1F）

12/6 インスタライブ、ギャラリートーク、講演会（福本会員）

12/7 子ども向けワークショップ（お面づくり）、リレーブックトーク、講演会（さくま代表+稲角会員・エンザロとのオンライン）

② 主催：アフリカ子どもの本プロジェクト

協力：京都家庭文庫地域文庫連絡会、堺町画廊

会期：2025年4月15日（火）～20日（日）

会場：堺町画廊（京都市中京区堺町通御池下ル）

4/19 講演会（福本会員）

4/20 講演会（さくま代表）

会期中随時、絵本の読み聞かせ+ジャンベたたき体験

3-3-2

①主催：AFRIKA meets KANSAI 実行委員会

会期：2024年9月21日（土）

会場：こどもの本の森 神戸（兵庫県神戸市中央区加納町6-1-1）

3-4 「アフリカに関する児童書 おすすめの本」の選書

・ホームページの「おすすめの本」コーナー、「おすすめの本リスト PDF」には、2025年3月までに選んだ本が入っています。

*選書会を2024年4月～2025年3月に4回開催。

8冊検討し、4冊を「おすすめの本」に入れることになりました。

4冊の解題を分担して執筆し、ホームページにアップしました。

2024年

6月 3冊検討 2冊をおすすめの本に入れる。

- ・『わたしの職場はサバンナです』(14歳の世渡り術) 太田ゆか著 河出書房新社
- ・『林にかくれるキリンを追う：もっと知りたい野性の姿』 齋藤美保著 くもん出版

8月 1冊検討 1冊をおすすめの本に入れる。

- ・『ぼくの心は炎に焼かれる：植民地のふたりの少年』 ビヴァリー・ナイドゥー作 野沢佳織訳 徳間書店

9月 2冊検討 1冊をおすすめの本に入れ、1冊は次回再検討とする。

- ・『ムクウエゲ医師、平和への闘い：「女性にとって世界最悪の場所」と私たち』 立山芽以子・華井和代・八木亜希子著 (岩波ジュニア新書) 岩波書店

2025年

1月 2冊検討 1冊をおすすめの本には入れず、もう1冊は次回再検討とする。

*選書会で選んだ図書を、岩波書店、河出書房新社、くもん出版、徳間書店(50音順)よりご寄贈いただきました。今後の図書展で展示させていただきます。ありがとうございました。

3-5 支援グッズの製作・販売(写真)

絵はがき(5枚セット)、トートバッグ、マスキングテープ、Tシャツ、『エンザロ村のかまど』スワヒリ語版、英語版等をネットで販売しています。会員にも引き続き販売しています。詳細はホームページの「本やグッズを買う」をご覧ください。

3-6 ホームページの更新(写真)

今年度も、メールによるプロジェクト・ニュース配信のほか、ホームページ <https://africa-kodomo.com/>、フェイスブック(<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>)、インスタグラム(https://www.instagram.com/africa_kodomo/)等による情報発信を行いました。

ホームページでは、「お知らせ」欄に図書展の情報を、ブログ欄に定例会やプロジェクトの動向を随時としています。フェイスブックでは「いいね!」をクリックして下さった方は698名(昨年よりも37名増加)、インスタグラムでは248名(昨年より38名増加)のフォロワーがいます(2025年5月9日現在)。

今後も活動の様子を伝えるべく、内容を充実させていきますので、ぜひご覧ください。

3-7 「プロジェクト・ニュース JACBOP NEWS」の発信

電子メールにより、定例会の報告、ケニアのドリームライブラリーの様子、図書展のお知らせ、その他を会員向けに発信しました。

3-8 その他

・ 図書展案内リーフレット（写真）

「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本」展の開催を呼びかける案内リーフレットを作成しました。デザインは竹中マユミ会員です。

読書団体や学校や図書館、国際交流団体などへご案内にご活用ください。ご入用の方はご連絡ください。

・ 雑誌掲載

児童図書館研究会の機関誌「こどもの図書館」2024年12月号（vol.71. no.12）に、当会についての会員の記事が掲載されました。内容は当会ホームページでご覧いただけます。

アフリカ子どもの本プロジェクトについて／さくま ゆみこ

「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本」展を開きませんか？／福本 友美子

ドリームライブラリー現地報告／稲角 暢

アフリカ子どもの本プロジェクトについて

アフリカ子どもの本プロジェクト代表
さくま ゆみこ

- 本の読み聞かせ（授業用的・レクリエーション的両方とも）
- 絵本鑑賞（音声・書籍・動画・解説）
- 絵本制作（A4・A5・A6・A7・A8・A9・A10・A11・A12）
- 絵本制作コンクール（A4～A12）
- 絵本制作コンクール（A4～A12）
- 絵本制作コンクール（A4～A12）

ドリームライブラリー現地報告

アフリカ子どもの本プロジェクト会員
稲角 暢

アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展を開きませんか？

アフリカ子どもの本プロジェクト会員
福本 友美子

4、2024 年度決算報告 (2024.4.1~2025.3.31)

5、2025 年度予算 (2025.4.1~2026.3.31)

連絡先

アフリカ子どもの本プロジェクト

〒399-5503 長野県木曾郡大桑村長野 1517-5 さくま方

メールアドレス: amai_3@yahoo.co.jp

ホームページ: <https://africa-kodomo.com>

フェイスブック: <https://www.facebook.com/africachildrenbooks>

インスタグラム: https://www.instagram.com/africa_kodomo/